



市議会を傍聴して

(平成23年12月市議会)

(原町区／渡部紀佐夫さん)

あの千年に1度という大震災と津波そして原発の信じられない爆発事故から10ヶ月。この事故で23年のコメ作付けはなく、今後も希望の持てない状況にあり、今後の担い手の意欲をなくすことが心配です。12月5日から市議会が開催され、傍聴させていただきました。

事故が発生してからの報道内容は当然、原発事故の問題が多くなりますが、国・東電の心は本当に福島にあるのか大変疑問を感じるところであり、議会には多大の期待をして傍聴したが国の対応の遅れがすべてに影響を及ぼしていると感じました。

警戒区域についても、国は線量の低い所から解除するというのであれば雇用確保からも企業再生を視野に早期解除の働きかけが重要と感じます。

地域医療、除染が遅れることは市民生活に一日一日厳しさを増すことは必定であり、重要な問題と考えます。先の定例会において市長は半導体、輸送用機械などの企業誘致について答弁しているが可能なら一体となって進めていただきたいものです。

市は小中学校の再開を決定し子供たちが帰れる環境を準備したが、今後は若者が帰ることが出来る雇用環境を整える政策を進めるべきだと思います。

生活の安全を確保する事から除染を含め、自らも活動をしてきたがこのことは一も早く3月11日以前の環境に回復し、家族が揃って暮らすことを望んでいるからであります。今後も復旧復興のため、関係者のご努力を期待します。

市議会だより編集委員会

委員	委員	委員	委員	委員長
奥村	大山	田中	鈴木	渡部
健郎	弘一	一正	昌一	京子
				寛一

また戻っても仮設住宅で、仮設の校舎で受験勉強をしている生徒がいます。それぞれに厳しい環境の中で受験戦争に立ち向かっています。希望の進路を進めることを願ってやみません。私たちも少しでも早く、子ども達が安心して暮らせる、帰って来れる南相馬市を取り戻すために努力を続けております。

田中 一正

3月の定例会 (予定)

- 3月2日(金)
本会議…会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案の提出及び説明、先議分の質疑、討論、表決
- 3月7日(水)・8日(木)・9日(金)
本会議…一般質問
- 3月12日(月)
本会議…議案に対する質疑、委員会付託
- 3月14日(水)・15日(木)・16日(金)
委員会…総務、文教福祉、建設経済常任委員会
- 3月22日(木)
本会議…委員長報告(質疑、討論、表決)

※この日程は変更されることがあります。
議事を傍聴するには、日程をご確認下さい。
●問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

市議会ホームページ・本会議インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録(本会議)などを掲載していますので、ご覧下さい。
また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信(本会議のおおむね5日後)でご覧いただけます。あわせてご覧ください。

下記のアドレスへ、アクセスしてみてください。
南相馬市ホームページ <http://www.city.minamisoma.lg.jp/>

12月定例会に提出された請願・陳情とその結果

受理番号	件名	請願・陳情者氏名	議決状況
請願5	東日本大震災による南右田共同墓地の流失に伴う代替地の確保について	南相馬市鹿島区南右田行政区長 小野田 功 ほか4名	採 択
請願6	南相馬市の原子力災害について	南相馬市原町区 小松 恒俊	採 択
請願7	警戒区域解除・見直しに関する意見書の提出について	南相馬市原町区太田地区復興会議 委員長 渡部 紀佐夫	継続審査
陳情5	公的年金の削減に反対する意見書の提出について	南相馬市原町区全日本年金者組合原町支部 支部長 斉藤 盛男	継続審査

○請願・陳情の提出をされる方へ：次回の3月定例会においては、**2月24日(金)午後4時まで**に提出してください。

編集後記

まもなく東日本大震災から十一年を迎えます。一年近く過ぎてはまだ震災の傷跡が消えない状況であり、未だに2万数千名の市民が市外に避難を余儀なくされています。

家族が長期間避難するということは子ども達の運命や将来も変わってしまうことです。大人が起こした災害により、多くの小さな子ども達の運命まで巻き込んでしまったことについては責任の取りようがありません。

三学期が始まり、受験シーズンを迎えています。放射能の影響により、避難先から帰れずに避難先の学校を受験する子ども達がいまいます。

また戻っても仮設住宅で、仮設の校舎で受験勉強をしている生徒がいます。それぞれに厳しい環境の中で受験戦争に立ち向かっています。希望の進路を進めることを願ってやみません。私たちも少しでも早く、子ども達が安心して暮らせる、帰って来れる南相馬市を取り戻すために努力を続けております。

田中 一正